

# 耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。今日はご祥当。お大師様のご命日です。ご祥当が来るといよいよ春です。ね。とは言え、まだまだ寒い日もあります。くれぐれもご自愛ください。今年のかかわら版は、日常会話の中に浸透している仏教用語についてお伝えしています。

先々月、先月は「愚痴」と「我慢」が仏教用語であることをお伝えしました。「へく、知らんかったわ」というお声をずいぶん頂戴しました。

「我慢」は「自我の慢心」が語源。したがって、仏教的には「我慢する」という気持ちはそもそも傲慢とお伝えしたものの、周りには迷惑な人がいるし、迷惑なこともあるので、「我慢する」という気持ちになるのも致し方なし。それが人情というものです。ねえ。

しかし、その「迷惑」も実は仏教用語。迷い、惑うので迷惑。迷い、惑うので迷惑。

「迷」はサンスクリット語の「ブラーモンテイ」を漢訳したもので、真実を見失い、誤った考えに執

着して混乱すること。「惑」は同じく「クレイヤー」の漢訳。苦悩、妨げ、内面的な汚れを意味します。

つまり、自分の心、内面が原因で迷い、惑う姿を表す言葉が「迷惑」です。

「迷惑なことだ」と思う時には、そう思う対象への固定観念、先入観、潜在意識が影響し、それが「嫌なことだ」「ひどいことだ」と判断している、裁いているからこそ、「迷惑」であり、「我慢」しなくてはならないと思ひ、「愚痴」のひとつやふたつも出ようというものです。

「愚痴」にしろ、「我慢」にせよ、あるいは「迷惑」も、いずれも自分の思い通りにならないことが目の前にあり、それに対する反応として現れる行動や気持ちです。

自分の思い通りにいかないことにどう向き合っていくのか、それをどう対処していくのか、その心構えと気持ちの整理の仕方を教えているのが仏教と言えます。

心構えと気持ちの整理

の仕方、などと書いている私も愚かです。そういうハウツー、ノウハウではなく、まわりの出来事や人を自分の考えで「裁かない」という姿勢、生き方こそが、お釈迦様が教えていた「諸行無常」「諸法無我」「一切皆苦」の「三法印」。それが身につくと「涅槃寂静」の境地に到達。「三法印」に「涅槃寂静」を足して「四法印」です。これはまた難しくなってきました。やめましよう。

「何だか面倒くさい話を読ませて迷惑だなあ、このかわら版は」などと邪険にしないでください。迷惑だと思ふ気持ちこそ、ここに書いてあるからかもしれません。

「愚痴」を言ったり、「我慢」をしたり、「迷惑」な気持ちになることも、いざずれもエネルギーを費やすことです。そのエネルギーは別なことに振り向けましよう。

それではまた来月まで、ごきげんよう。合掌。

※ 耕平

## かわら版執筆者 大塚耕平

日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。旭丘高校、早稲田大学をへて、日本銀行に18年間勤務。

2001年から参議院議員。元内閣府副大臣・厚生労働副大臣。地元の歴史・文化遺産の継承と振興のために「弘法さんかわら版」を執筆しています。今年で、足かけ16年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は、早稲田大学、中央大学大学院、藤田保健衛生大学医学部の客員教授も務めています。

**好評発売中**

弘法さんかわら版

弘法大師の生涯と覚王山

大塚耕平著

弘法さんかわら版

大塚耕平著

仏教通史

大塚耕平

弘法さんかわら版講座

仏教とは何か

インドから中国、朝鮮、そして日本へ  
仏教史と東アジア・日本史を  
一気に読み通す「新・仏教読本」

大法輪閣 (仏教書の老舗出版社) 営業部：電話 03-5466-1401

